

08_車椅子とWeb ページ

研究者 鈴木敬人 鈴木涼 印出井太喜
指導者 大塚 晴司

1. 研究動機

タイ王国ボランティアの経験を活かし、車椅子修理マニュアルを作成しようと思いました。作成したマニュアルを実習で学んだホームページに掲載して多くの人にこのことを知ってもらいたいと思いました。

2. 目的

- (1) 車椅子を実際に修理し、車椅子についての知識を正しく理解する。
- (2) マニュアルを考えて実際に修理活動をして問題点を洗い出す。
- (3) 12 月に実施されるタイ王国ボランティアに作成したマニュアルを持っていき、現地で使用してもらう。
- (4) ホームページを作成し多くの人に車椅子修理のことを知ってもらい、車いすの修理方法を知ってもらう。

3. 研究内容

- (1) 車椅子修理に使用する工具や手順を調べる
- (2) 車椅子を実際に修理する
- (3) 初心者用マニュアルを作成
- (4) ホームページで公開

4. 研究の経過

(1) マニュアルの作成

マニュアル作成において重要なことは使用者目線でわかりやすくする必要があったと考えました。そこで図やイラストによる決め細やかな説明と使用者が怪我しないように安全に配慮した修理方法を独自で考えました。

車椅子修理に必要な工具を調べ使い方を説明する。

(2) 車椅子修理体験

考えた修理方法を用いてパンク修理やキャスター、ブレーキの修理を行いました。使った工具や使用した部品の用途も調べました。実際に修理をしないと理解できない部分や説明しにくい箇所もあったのでマニュアルに図やイラストを付けてまとめました。



図 1 後輪修理

(3) マニュアル作成

まとめたマニュアルをタブレットや印刷に使える用に

Adobe Acrobat 形式(pdf)にしました。

(4) タイ王国ボランティアで活用

作成したマニュアルをタブレットに入れて実際に使ってもらいました



図 2 マニュアルの使用

使ってもらい問題点が出てきたので手直しを行いました。

(5) ホームページを作成 (Netcommons)

作成したマニュアルをより多くの人に見てもらえるように学校で使われている CMS の Netcommons で作成しました。現在は校内のホームページで公開しています。

マニュアルとほぼ同じように作成しました。画像の大きさや表の挿入など見やすくなるよう工夫を施しながら作成しました。また、タイ語のマニュアルの作成も考えていたのですが、日本語とタイ語の変換がうまくいかず、またタイ語のフォントに関しての理解不足により作業の中断を強いられました。



図3 公開している web 形式のマニュアル

5. 考察・感想

この活動の中では車椅子修理の危険性や手順をどのようにマニュアル上で表現していくかが難しかったです。文字の大きさや画像も実際に分かりやすいように考えて作り、さまざまな改良を加えました。

このマニュアルを見て、ボランティア活動に興味を持ってもらおうとホームページにもマニュアルを掲載しました。画像を一枚ずつアップロードし、できるだけマニュアルと同じように見やすく改良していきました。